

平成29年度 第12回教育委員会定例会

議決事項

件名	提案理由	審議の状況	採決の次第
報告第2号 平成30年2月1日付け教育委員会職員人事異動について	教育委員会職員の異動を報告するものである。	特記事項なし	
報告第3号 平成29年度垂水市地区公民館主事の任命について	平成29年度垂水市地区公民館主事の任命について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。	特記事項なし	
議案第4号 平成30年度『垂水市の教育』基本方針について	平成30年度垂水市の教育行政の運営に関する基本方針を定めようとするものである。	特記事項なし	承認
議案第5号 垂水市奨学資金条例施行規則の一部改正について	垂水市奨学資金条例施行規則の一部を改正しようとするものである。	特記事項なし	承認
議案第6号 垂水市文化財の指定について	川畑賢矩家文書等（古文書）を垂水市指定文化財として指定することで、保護し後世へ伝えようとするものである。	特記事項なし	承認
議案第7号 垂水市奨学資金奨学生選考委員の委嘱について	垂水市奨学資金奨学生選考委員を委嘱しようとするものである。	特記事項なし	承認
議案第8号 平成30年度以降の垂水市学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について	平成30年度以降の垂水市学校医・学校歯科医・学校薬剤師を委嘱しようとするものであ	特記事項なし	承認

<p>議案第9号 垂水市社会教育指導員の任命 について</p>	<p>る。(任期) 学校医：2 年・学校歯科医3年・ 学校薬剤師：1年</p> <p>社会教育指導員を任 命しようとするもので ある。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>
<p>議案第10号 垂水市青少年育成センター相 談員の委嘱について</p>	<p>青少年育成センター 相談員を委嘱しようと するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>

平成29年度 第 12 回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
<p>平成30年3月13日（火）</p> <p>午後1時58分</p> <p>↓</p> <p>午後3時30分</p> <p>第2研修室</p>	<p>教育長 坂元 裕人</p> <p>教育委員 野村 繼治</p> <p>教育委員 田原 正人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育委員 葛迫 幸平</p>	<p>教育総務課長 池松 烈</p> <p>学校教育課長 下江 嘉誉</p> <p>社会教育課長 野嶋 正人</p>

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成29年度第12回教育委員会定例会を開会した。
議案第7号から第10号の議案4件は非公開で審議する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

2 平成29年度第11回定例会会議録の承認

承認

3 議 事

- 報告第 2 号 平成30年2月1日付け教育委員会職員人事異動について
- 報告第 3 号 平成29年度垂水市地区公民館主事の任命について
- 議案第 4 号 平成30年度『垂水市の教育』基本方針について
- 議案第 5 号 垂水市奨学資金条例施行規則の一部改正について
- 議案第 6 号 垂水市文化財の指定について
- 議案第 7 号 垂水市奨学資金奨学生選考委員の委嘱について
- 議案第 8 号 平成30年度以降の垂水市学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について
- 議案第 9 号 垂水市社会教育指導員の任命について
- 議案第 10 号 垂水市青少年育成センター相談員の委嘱について

4 その他

5 委員並びに教育長及び課長報告

6 閉 会

議事内容等

3 議 事	報告第 2 号
教育総務課長	平成 30 年 2 月 1 日付け教育委員会職員人事異動について 平成 30 年 2 月 1 日付け教育委員会職員人事異動について、その内容を報告した。 (質疑なし)
社会教育課長	報告第 3 号 平成 29 年度垂水市地区公民館主事の任命について 平成 29 年度垂水市地区公民館主事の任命について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告した。 (質疑なし)
教育総務課長	議案第 4 号 平成 30 年度『垂水市の教育』基本方針について 平成30年度垂水市の教育行政の運営に関する基本方針を定めようとする ことについて、その内容を説明。 (質疑なし)
教育長	異議がないので、議案第 4 号は承認する。
学校教育課長	議案第 5 号 垂水市奨学資金条例施行規則の一部改正について 垂水市奨学資金条例施行規則の一部改正について、その内容を説明。
野村委員	返還のかたちだが、日本学生機構と同じかたちなのか。
学校教育課長	本市独自で、返還は貸与の 2 倍の期間で返還してくださいという仕組み であり、免除もそういうかたちでやっていくということだ。
野村委員	話をぱっと聞くと、融通が利かないという印象を受けるが。学生機構な どはまとめて返還ができるが。返還できる人ができなくなる。
学校教育課長	そうすると、免除期間が短くなる。定住促進の趣旨もあり、返還するこ とを免除するわけだ。
野村委員	基本的な考えがよくわかった。
教育長	異議がないので、議案第 5 号は承認する。

	<p>議案第 6 号 垂水市文化財の指定について</p>
社会教育課長	川畑賢矩家文書等（古文書）を垂水市指定文化財として指定することにより、保護し後世へ伝えようとする事について、その内容を説明。
野村委員	学則等は垂水小にあるが、原本はどこにあるか。
社会教育課長	川畑賢矩家にあるわけだが、現在は文行館に展示してある。
野村委員	この前の話では、文行館から文化会館のロビーへの展示となるのか。
社会教育課長	文行館がいったん預かっているかたちになっているので、いったん所有者にお返ししたかたちの後、市に預かってもらった方が安心であるからと、文化会館への展示となっていく。
野村委員	それは大事なことだ。家で保管するよりも市で預かってもらった方が安心だということだ。了解を取って、市の方で保管してもらった方が安心だ。そうでないとどんどん散逸してしまっていく。市の文化財として保管してもらった方が安心だ。
社会教育課長	そのとおりだ。そのためにも文化財として指定して保管していくことが大切だ。
野村委員	他にはないか。掘り下げていけばいいのがあるのでは。
社会教育課長	文化協会の方々が素晴らしいのがあると、長崎大学の先生に相談されてそうやってきたものだ。
野村委員	長崎大学の先生のそういう機会が今後も出てくるようであれば大事にしてほしい。
教育長	異議がないので、議案第 6 号は承認する。
	<p>議案第 7 号 垂水市奨学資金奨学生選考委員の委嘱について（学校教育課） （非公開）</p>
	<p>議案第 8 号 平成 30 年度以降の垂水市学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について（学校教育課） （非公開）</p>

	<p>議案第 9 号 垂水市社会教育指導員の任命について（社会教育課） （非公開）</p> <p>議案第 10 号 垂水市青少年育成センター相談員の委嘱について（社会教育課） （非公開）</p>
4 その他	なし
5 委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告
教育長	委員並びに教育長及び課長の報告に入る。
野村委員	<p>1. 「垂水高校卒業式について」 3月1日（木）垂水高校の第70回の卒業式が行われた。普通科16名、生活デザイン科20名、計36名という高校としては小規模であるが、大変厳粛で整然とした式典であった。小規模校であるが故に、生徒一人一人の存在意識あるいは仲間意識の強さ、連帯感のつながりを強く感じることができた。</p> <p>ここ数年、生徒諸君の垂水高校の生徒としての帰属意識の高まりが評価されているとのことだが、市内唯一の高校に対する市民の皆様の善意と期待とに、さらに邁進努力して応えて欲しいものと思った。</p> <p>また、進路状況についても、特に進学面においては、東進ハイスクールの通信講座についても好意的な支援がしっかりと定着しつつあるという現状を考えても、今後生徒諸君のさらなる向上躍進が見られるのではないかと期待できる雰囲気であった。これからの一層の取り組みに期待したいと思う。</p> <p>2. 「教育委員会臨時会について」 3月11日（日）教育委員会臨時会が開催された。今年度の人事異動の全件数は1,900人強ということであったが、本市の異動状況を見ると、例年同様に内容のあるいいかたちでの結果ではないかと思われる。</p> <p>12日に内々示ということで無事に進行しているようで、何よりであると思われる。教育長はじめ事務局の先生方大変御苦勞様でした。最後までつがなく進行することをお祈りする。</p>
田原委員	<p>1. 「垂水高校卒業式について」 3月1日（木）垂水高校卒業式に出席した。去年は雨であったが、今年は天気に恵まれ、晴れやかな卒業式であった。普通科16名、生活デザイン</p>

科20名の少人数ではあるが、卒業生一人一人がこの学校で精一杯頑張ったという自信を持って卒業していく姿が伺えた。校長先生の話の中にもあったが、卒業生の1/3は市外の生徒、多感な高校生活を垂水で過ごしたことで、垂水の良さや優しさを肌で感じ、今後の生活に役立ててくれるのではないかと思う。

一人一人の態度も落ち着きがあり立派であったが、特に卒業生の答辞の内容が素晴らしかった。たった1秒の言葉だけど……のフレーズが心に刺さった。

2. 「垂水学校応援団会議について」

3月2日開催の垂水学校応援団会議について、司会のMさんが、垂水中央中学校の生徒が徘徊している認知症と思われるご老人の話聞いてあげて、結果として助けたという報告は、参考になった。

中学生にお金を貸してと言ってきたご老人に、集団で話を聞いてあげて、周囲の方が連絡されたのか分からないが、福祉に連絡が行き、徘徊で家族が探していた方が見つかった。

この様なご老人の話聞いてあげる優しさを持った中学生は素晴らしいし、あいさつ運動などが中学生と地域を結び付けているのではないかという話であった。

中谷委員

1. 「3月について」

3月になった。

この月は、今までやってきた事の締めくくりでもあるし、新しい出発点で、スタートの準備をする月でもあるので大変忙しいわけだ。子供達の1年間の大きな成長が目によく見える月でもあるなと思う。そんな中、オリンピックがあった。ある競技の選手方がよく使っていた言葉の「そだねー。」だが、子供達が友達の話をよく聞くことができるのか、友達の事をたくさん認めることができる事に出会える言葉だと思った。何度も何度もくりかえし、毎日楽しみにテレビを見る事だった。

個人的だが、昨日、息子が新しい土地に引っ越していった。出かけて行った後に息子の部屋に行ったら、入試対策の本がたくさんあった。受験生ということで、毎日いろいろな思いを抱いて生活していたんだなと思う事だった。

本日は中学校の卒業式だった。

一人一人がそれぞれの道を歩いて行くのだが、その道がどうぞ幸せでありますように、あなたがあなたを喜んで生きていてもらいたいなあと強く思う事だった。

また、3月8日に柘原小に絵本の読み聞かせに行かせてもらった。知り合いの方からお誘いを受けて、木曜日の職朝の15分間をいただき、12名の子供達と楽しい時間を過ごさせていただいた。月に1度だが、続けていきたいと思っている。

葛迫委員

1. 「第18回若草文学賞表彰式について」

2月24日(土)第18回若草文学賞表彰式に出席した。今回「やさしさ」をテーマに、小学生71点、中学生15点、合計86点が出品され、19点の作品

	<p>が入賞、学校賞には松ヶ崎小学校が表彰された。</p> <p>私も1月22日（月）の若草文学賞の審査に当たったが、86点の作品を拝読し審査していったが、どの作品も「やさしさ」の大切さや必要性を巧みな文章で表現していた。どの作品も入賞してほしいという気持ちは審査員全員が思ったようだった。特に今年テーマとなった「やさしさ」、そこに込めた子供達の思いを「よく見る、よく聞き取り話す、触った感触や臭い、食を味わうなど」の五感を使って素直に表現され、聞き手の心によく伝わる文章が多かったように感じた。松ヶ崎小学校2年生の神崎君『『やさしさ』の話し合い』は全員一致でグランプリに決まった。子供の子供なりの素直な文章、着飾らないありのままの表現が聞き手の胸を打ったような気がする。また、タイトルになっている『『やさしさ』の話し合い』は、家族みんなの話を良く聞き漏らさずに書き写している。お兄ちゃんが言ったことやお母さんが言ったこと。とても素晴らしい作品だった。</p> <p>教育長の「お母さんの質問と回答が素晴らしい。」と講評にあったが、子供とどう向き合い接すればいいのか。ここに家庭教育の原点があるように思うことだった。</p> <p>垂水中央中学校2年生の川畑君「姿を変えてつながる思い」、松ヶ崎小学校2年生の神崎君『『やさしさ』の話し合い』、二人の表彰式での朗読はとても感動した。</p>
教育長	<p>文化協会の方々の取り組みが素晴らしい。ここで自信を持って、次のステップに大きく成長していく機会になるのかなと思う。文化協会の方々には、改めて御礼申し上げたいと思った。</p>
教育長	<p>1. 「垂水中央中学校卒業式について」</p> <p>今日の中央中学校の卒業式、これにつきると思う。圧巻の卒業式。参加された方々の心に届く卒業式だったと思う。とりわけ、いろいろなことがあった学年ということで、どんな卒業式になるんだろうという思いで、私も臨んだ。担任の声にしっかり返事をし、立派な態度で卒業証書もらう姿勢、そして、きめ細やかな指導が行き届いていると感じた。そして、何よりも明石校長の卒業生への思いのこもった式辞を聞きながら、改めて、生徒の心情に寄り添ったいい学校経営をされているなど感じたところだ。それと、卒業生が全員心を込めて歌う姿も胸に迫るものがあった。送辞も素晴らしかった。答辞もよかった。在校生、そして、卒業生が一体となり、保護者の方々、先生方も一体となった、まさに素晴らしい卒業式、いい卒業式だった。やはり、垂水中央中学校は落ち着いた、いい学校に向かっているなという実感であった。本日は教育委員の先生方にも参加していただきましてありがとうございました。</p>
教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長	<p>2月14日から3月13日までの主な行事等について報告。 併せて、4月9日までの行事予定についてお知らせした。</p>
6 閉 会	

